

はじめに

- ・ 近畿大学足立ゼミは、今回、メインツアーを柱に個性の強いオプションツアーを組み合わせ、ツアー客が選択自由にできるツアー内容を提案しました。その際に、ツアーの持つ内容をコンセプトとして把握し、次にメリット・デメリット（長所・短所）を分析して以下に報告します。下記の政策提案は、私たちがモニターツアーで訪れた体験と知識の範囲に限定されているために、認識不足や誤解に基づくものも含まれているかも知れません。その点は、発表当日にご批判、ご指摘をよろしくお願いいたします。
- ・ 各ツアーごとに6つの指標から魅力度分析を行い、レーダーチャートにしてそれぞれのツアー商品の強みと弱みを分析しビジュアル化して一目瞭然にします。(10段階評価)。

○レーダーチャートの6つの指標

- (1) 大自然の豊かな観光資源がある(天然記念物や国定公園の指定なども有力な要素)。
- (2) 自然体験学習(神秘体験や商品加工体験、仲間作り体験)やスポーツができる。
- (3) 専門のガイド(外国人にも対応可能)がいて自然生態系と地域固有の文化や歴史を学べる。
- (4) 環境保全のルールが確立している。
- (5) 安全への防護策が完備している。
- (6) ビジターセンターや資料館にツアー商品に関わるデータや資料が保存され視聴できる。

※ レーダーチャートは7/3(水)のプレゼンテーション時に提示します。

○ツアーを通しての共通の目的

ツアーを作成するにあたって以下の2つの目的を認識し下記の9種類のツアー商品を提案します。

1. 環境保全活動

- ・ ツアーを通して地元住民とツアー客に環境保全の精神を学んでもらい、串間の自然や文化への愛着や環境保全意識を高め環境資源の保全と活用を推進します。
- ・ エコツアーとしての観光商品の特性を認識し競争力(環境ブランド力)を高めるための組織的、系統的な取組みを行ないます。(グッドエコツアーや各種認証申請など)
- ・ 観光資源となる自然や文化の知的価値を集積する情報拠点(ビジターセンター)を中心に観光資源の対外的な発信や啓発活動を進めます。

2. 地域活性化

- ・ エコツアーの商品化を通して産業の振興や人口の増加など串間市の活性化を図ります。
- ・ 串間を環境資源の保全と活用で有名な観光地にし、海外からのツアー客も呼び込めるようにする。郷土への愛着と誇りをもち人口減少や過疎化の進行に歯止めをかけます。
- ・ 都会からの移住者を増やす活動(短期滞在など)を観光商品化して取り組みます。

メインツアー

串間エコツアーの柱となるものです。観光客や旅行会社によるツアーの選択と組立は自由（たとえばオプションのみなど）ですが、ツアー自体の観光魅力度とその他競合ツアーとの差別化という視点から、下記の3つのメインツアーを串間エコツアーのシンボルとしてPR、推進します。

1. 幸島・都井岬ツアー

コンセプト：串間の観光資源の象徴とも言える野生動物の生態を視察できるツアー。

メリット：・国指定の天然記念物を間近で見ることができる。

野生の猿社会ではボスを中心に群れが形成されるが、そこには群れを維持するために力だけではなく守り続けてきた猿社会の絆と秩序がある。野生の馬も集団で動きながら家族の絆を確認しており、動作の仕草から人間と共通の感情をもっていることが伺われる。野生動物の社会的な関係、家族関係、生態系の食物連鎖などを学ぶことができる。半径20キロ圏内に野生動物を視察できる世界的に稀有な拠点であり、環境教育のモデル地域になる。

- ・道すがら猿や馬と出くわすなど、思わぬサプライズがあって飽きない。
- ・餌付けされていない野生動物は人間を対等に見て餌をねだって馴れ馴れしい態度をとらないのは新鮮な驚きがある。（動物園の猿とは違う）
- ・幸島伝説と地元の人々の信仰の実態もパンフレットに記載する。

デメリット：・天然記念物なので餌をあげられない。

- ・山頂を目指して上っても馬が頂上にいるとは限らない。（馬の生活リズムは馬が決める。）
- ・天候に左右されやすい。代替案を考える必要がある。
- ・幸島への渡船の着岸と岩場沿いに浜を目指すコースは自然の醍醐味を味わえる反面、岩場と接触して怪我をするリスクも高い。
- ・渡し船に乗船する際に、ライフジャケットの着用を義務づけないと、転覆したときの安全策がない。
- ・現行の島一周コースで一人当たりの料金に割高感がある。幸島専門ガイド料金も含めて団体割引制度を適用するなど料金設定をオープンにする。

2. 森づくりツアー

コンセプト：植樹体験や山菜採りを通じて森と触れ合い、森を再生するプロジェクトに参加するツアー。

メリット：・学校の課外授業などに活用できる。

串間エコツアーリズムの政策提案

近畿大学 足立ゼミ 7期生

- ・ 8 就業体験ツアーの(イ) 林業体験ツアーとリンクさせて、企業と個人向けの森づくり基金を募集し、事業展開できる。
- ・ 環境保全活動というエコツアーの精神を強く反映したツアーである。
- ・ 植林すれば定期的に植林を行ったツアー客に近況を知らせることが出来る。植物の成長段階を定期的にホームページで更新すれば、リピーターを増やすことが出来る。あるいは果物のなる木を植林し実った果実の情報を送ってツアー客に収穫時を知らせるサービスも有効であろう。

デメリット：・ 山奥なので移動が厳しい。バスは必須。
・ スコップなど農具を多く扱うので監視の目が必要。
・ 採取した山菜で料理するのだが参加人数分を確保できない場合の代替案も必要。

3. マリンスポーツ

コンセプト：日南海岸国定公園の南端にあり日本でも有数のサーフィンスポットもある景勝の海岸線でマリンスポーツを楽しむツアー。

メリット：・ 若者に強いインセンティブがある。温暖な気候でのマリンスポーツは有利。
・ 串間市には広大な砂浜と大海原があるのが強み。
・ 大々的に宣伝することでツアー客以外の顧客も獲得できる。
・ マリンスポーツ客に砂浜や海岸清掃に協力してもらう。

デメリット：安全面からライフセービング資格者を相当数雇わなければならない。
・ ジェットスキーによる騒音や公害をまき散らすスポーツは御法度とするルールを設ける。
・ 駐車場や施設不足だが、観光客向けの施設を建てる際には景観を損なわない配慮（規制）が必要。

オプションツアー

メインツアーに付随するツアーですが、それぞれの持つ個性は強力です。これからのツアーの人気次第ではメインに格上げすることもあります。

4. 史跡探訪ツアー

コンセプト：串間の歴史を研究している団体（史談会）のメンバーがガイドする串間の歴史を知るための史跡めぐりのツアー。

メリット：・ 中高年には人気が出そう。
・ 隠れキリシタンや中世の貿易港 *MINATO* を中心に串間をアピールすれば、関

串間エコツアーリズムの政策提案

近畿大学 足立ゼミ 7期生

心を持たれる可能性は高い。

- ・吉松邸のひなまつりの飾りは宣伝効果が大きい。特に外国人観光客には効果が見込める。見栄えもするので、ツアーパンフレットの表紙にも使えます。
- ・ツアー客の年齢層にもよるが、最初に一つの問題（クイズ）や仮説を立てて謎解きをしながら誘導する方法等も取り入れるとツアー客の興味は倍増する。

デメリット：・最初のツアー体験だったので、未知数の部分もあるが予備知識のない若者には受けにくい。

- ・ガイドの専門性は高いが、観光客の年齢や興味対象によって話題を変える柔軟性も必要。
- ・吉松邸の展示物の説明が乏しい。
- ・新しい文化財の発見や考古学的価値のある本物の文献や資料が少ない。
- ・最初に、宮崎県串間の地名の謂れや歴史を概説して知識を徐々に深めていくことが有効です。

5. 夢動物ランドツアー

コンセプト：イチゴ農園に併設している動物園の視察ツアー。簡単な檻や金網で囲われているがほぼ自然の状態で飼われた元気な動物と触れ合える。

メリット：・多種の動物と触れ合える。メインツアー「幸島・都井岬ツアー」では動物に触れられないので少しストレスがあるが、そのフォローにもなる。

- ・家族連れやカップルなど幅広い客層に受ける。
- ・いちご園があるので、いちご摘みやジャム作りなどもできる。ジャム作りは、これまで形が悪いなどの理由で動物の飼料になっていた苺を再利用できる。さらに出来上がったジャムはツアー客にその場で配るあるいはツアー客の希望する住所へ届ける事ができる。親戚や実家へ写真付きで送ると人気が出そう。
- ・高台のバーベキュー、休憩施設を活用すれば眺望の良い観光拠点にもなる。

デメリット：・衛生管理のチェック体制が必要。

- ・入場料をとるならゲートが必要になる。
- ・大人数で参加すると受付や説明等1人のガイドでは対応できない。
- ・この施設の情報を発信するホームページもなく広報力不足。

6. 赤池キャンプツアー

コンセプト：広大な森林空間を利用してキャンプや森林浴、星空観察等を楽しめるツアー。

メリット：・家族連れ、学生や部活の合宿などに需要がある。

- ・ミニライブなどの様々なイベントを企画でき、顧客を飽きさせない。
- ・キャンプ場と広場を結ぶ遊歩道ができれば、相当な森林浴ゾーンが生まれ、

串間エコツアーリズムの政策提案

近畿大学 足立ゼミ 7期生

メインツアーに格上げできる可能性をもつ。

デメリット：イノシシなど野生動物と出くわす可能性があるので安全面の対処が必要。

・冬場の活用法があるのか？

～ハイキングコース～

- ・所要時間を明確にすべき。
- ・コースが2通りに分かれていたが、道案内の表示が乏しかった。
- ・キャンプを楽しむ人たちの為に、キャンプ場でBBQをする際に使える山菜を採取できるスポットをつくること。
- ・ハイキングコースから、キャンプ場を含めた大自然を背景に記念撮影できるポイントの発掘。
- ・夏には、カブトムシやクワガタを採取できるようなイベントを開催。
- ・紅葉や桜が見られる時期の宣伝。お花見やビアガーデンの開催。

～キャンプ場～

- ・食材調達やBBQセットのレンタル内容の明示化。
- ・トイレを増やす必要がある。
- ・芝生が広範囲に敷き詰められていたのでボール遊びが可能。ペット連れでも楽しめる。
- ・夏場のピーク時には、ごみ回収員の必要性有。普段からごみ箱を設置すると観光客がごみを持ち帰らなくなる懸念がある。
- ・飲料に適することを確認した上で、夏場には、付近の川の澄んだ水を利用し、流しそうめんなどのイベントを催す。

7. ホームステイツアー

コンセプト：串間在住の家庭を訪問し生活体験や交流体験をして素朴な田舎の生活を楽しむツアー。

メリット：・小学校の課外学習などに需要が見込める。

- ・現地に住んでいる人々の生活をより近くで実際に体験できる。
- ・電気がない生活を体験すると、電気のある生活を見直す機会になる。

デメリット：・受け入れ先の確保が出来るかどうか。

- ・事前に設備や決まり事を観光客に伝えておく必要がある。
- ・実際にホームステイがスタートしてからわかる受け入れ先の家族の価値観・習慣の違いで、受け入れ先や顧客の双方にストレスがたまる可能性が

ある。

- ・事故や怪我などトラブルが起きた際、受け入れ先に冷静な行動がとれるのか。応急処置のできる設備やサービスを義務付ける必要性有。

8. 就業体験ツアー

コンセプト：都市住民に串間の第一次産業（農業、林業、漁業）を中心に就業体験をしてもらうツアー。セカンドライフを串間で過ごしたいあるいは就業したいツアー客にアピールし間接的に移住を促進する効果が期待できる。どの体験ツアーも業界の協同組合との連携が必要になる。いずれも6次産業（ものづくり＋加工＋販売）を目指し、消費者との直接対話のある産業化を図る。新しいコンセプトのあるモダンで競争力のある1次産業づくりに参画するスタッフを確保し長期的な視野から育成する。就業体験プログラムや技術的指導を担当する人員や講師の確保が課題となる。

（ア）農業体験ツアー

コンセプト：芋掘り、茶畑での苗植えや繁忙期の農業手伝いを体験して農業の魅力を満喫する民泊ツアー。

- メリット：・串間市の農業は全国的に有名ではないが、甘藷や串間茶など高いポテンシャルを持っている。
- ・特産品を売り込む会社を設立しアピールしていけば、ツアーの需要は高まっていく。
 - ・株式会社など法人組織を起業して農業経営の近代化を考える層を開拓すれば、大きなビジネスに繋がる。

- デメリット：・わざわざ宮崎にきて農業をする人がいるかどうか。魅力が少ない？
- ・力仕事なのでできれば若い人に来てもらいたいが、現状は厳しい。
 - ・農業従事者や組合の受け入れ態勢が十分に確立できていない。
 - ・農業のノウハウだけを持ち帰られるリスクもある。
 - ・自然を相手にする農業の厳しさに耐えられず途中で棄権する者もいる。

（イ）林業体験ツアー

コンセプト：植樹や山菜採り、間伐材の伐採等、林業手伝いに従事して林業の魅力を満喫するツアー。

- メリット：・宮崎の未開発の森林を使った産業起こしが可能。
- ・企業向けの森林保全活動と個人向けの活動基金に分けて広範に資金調達する。
 - 2. 森づくりツアーと連携することが可能。
 - ・森林の維持活動のための人材調達も行える。

串間エコツアーリズムの政策提案

近畿大学 足立ゼミ 7期生

- ・宿泊施設などで林業スクールを開設し林業を本格的に学ぶ講座を開き、林業に対する知識を確実にできる。

デメリット：・仕事の準備金や土地があるかどうか。

- ・山間地での仕事なので、体力の維持と安全面でのリスクが常にある。

(ウ) 漁業体験ツアー

コンセプト：網上げやトビウオすくい、伊勢エビ漁、漁業観光、漁業手伝いなど漁業体験を通じて漁業の魅力を知るツアー。

メリット：・串間の漁業力（近海で豊富な海産物がとれる）をアピールし、水産加工も含め全国に販売できる体制を整え漁業の成長ビジョンをもてば、後継者となる若年層の開拓も可能。

デメリット：・高齢者には向かない。

- ・漁業への転職を考える人を如何に探すか、ホームページ等の充実策が課題。

9. 短期滞在型ツアー（移住促進型ツアー）

コンセプト：串間市にある滞在型施設（低料金でアパート等を一時的に賃貸しても良い）に宿泊しながら、串間で生活し住民とも交流して就業体験も可能な短期間のツアー。移住者ネットワーク団体との協働事業になる。

メリット：・定年後、老後を過ごす中高年には人気が出そう。

- ・串間市への移住者の促進につながる。
- ・連携した都市自治体と協力して情報発信する。
- ・8. 就業体験ツアーと組み合わせると多様なニーズに応えられるツアーが可能になる。

デメリット：・元々のニーズが小さい。採算性がとれるのか？

- ・1か月程度の滞在を考えた時、会社員など長期休暇を取れる顧客が少ない。
- ・移住によって生じる異文化との摩擦、葛藤を調整したり、相談を受ける専門機関の設置も検討。

[串間PRアイデア]

- ・Facebookなどを利用して宣伝
- ・ゆるキャラなどのキャラクターでPR
- ・ご当地名物「ブリぷり丼」を推していくのであれば、もっと全国的にアピールする必要がある。